

変革を加速、DXで未来を描く。



神奈川県内陸工業団地協同組合
理事長 歳原博幸

組合員並びに関係各位の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年、相次ぐ物価上昇、原材料価格の高騰、長引く国家紛争、それに追い打ちをかけるような政治的な不安定感と災害の数々、政治・経済において我慢の一年で、未来を展望することへの壁を感じざるを得ない一年となりました。

一方、特にDXの進捗や、環境問題への対応など、私たちの工業団地も私たちが一層連携を深め、協力し合いながら、さらなる成長を目指して邁進する年であると考えるております。特に、デジタル化や環境への配慮がますます重要になる中で、私たちの協同組合がその変化に柔軟に対応し、地域産業の発展を牽引していく責任が増していると感じております。本年も、皆様とともに新たな挑戦に取り組み、より一層の成果を上げ

デジタル技術は変革の起爆剤 地域産業発展へ総力挙げ支援

サステナビリティを意識し、今後の成長に向けた方向性を定めるためには、迅速かつ柔軟な対応が求められる時代となったことを強く感じる一年でもありました。2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」ということで、「乙」は「一番じゃないけど」「乙だね」、「乙なこと言うね」など控えめな誉め言葉です。「巳」は再生と繁盛を象徴する蛇を表します。その意味するところは、努力を重ねたことを安定させていく縁起の良さも表しており、成長や変革の年とされています。また、中小企業における技術革新は目覚ましく、AIやIoT、ロボティクスなどの進展により、生産性の向上への期待、労働力の多様化もさらに進んでいきます。それらに臆することなく立ち向かい、成長に向けた変革の機会を捉え、これらの変化にいかに対応し、地域産業としての競争力を高めていくかが、課題でありチャンスでもあります。

だんち だより

第103号

2025年(令和7年)1月31日発行



謹賀新年

年頭のご挨拶

神奈川県中小企業団体中央会
会長 森洋

会員並びに関係者の皆様、明けましておめでとうございます。お健やかに令和7年の新春をお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、元日の能登半島地震、9月の能登豪雨などの激甚災害の発生や、国家紛争の長期化など国内外の情勢が不安定な年となりました。一方で、パオリオンピック・パラリピックでは、神奈川県縁のある多くの選手がメダルを獲得しましたし、横浜DeNAベイスターズが日本シリーズで優勝するなど明るいニュースもありました。

今年、経営の面で、中小・小規模事業者の本格的な景気回復が期待されましたが、原材料価格の高騰、構造的な人手不足や個人消費の停滞から収益確保を実感できず、更に、いわゆる2024年問題として働き方改革の残業規制への対応にも追われた年でありました。明けた令和7年は、中小・小規模事業者が生産性を向上させ収益がアップする年となることを期待するところでありました。しかしながら、現下の経営環境は、人手不足が深刻化する中で、最低賃金も引き上げられるなど人材確保のための防衛的な賃上げにも限界がありますし、こうした人件費や原材料費の高騰によるコスト増の価格への転嫁が引き続き大きな課題となつているなど、本年も引き続き厳しい経営環境が見込まれます。本会では、こうした課題を解決していく為に、県の補助事業の支援メニューはもとより、国が措置した「中小企業省力化投資補助金」の事務局として中小企業の生産性向上支援に努めるとともに、人材確保の面では、新たな「育成就労制度」の施行を視野に入れて、実効性のある制度に移行できるように検討を進めていくなど、関係機関等と連携しながら、生産性向上、人材確保、価格転嫁などの支援に取り組んでまいります。



今年、経営の面で、中小・小規模事業者の本格的な景気回復が期待されましたが、原材料価格の高騰、構造的な人手不足や個人消費の停滞から収益確保を実感できず、更に、いわゆる2024年問題として働き方改革の残業規制への対応にも追われた年でありました。明けた令和7年は、中小・小規模事業者が生産性を向上させ収益がアップする年となることを期待するところでありました。しかしながら、現下の経営環境は、人手不足が深刻化する中で、最低賃金も引き上げられるなど人材確保のための防衛的な賃上げにも限界がありますし、こうした人件費や原材料費の高騰によるコスト増の価格への転嫁が引き続き大きな課題となつているなど、本年も引き続き厳しい経営環境が見込まれます。本会では、こうした課題を解決していく為に、県の補助事業の支援メニューはもとより、国が措置した「中小企業省力化投資補助金」の事務局として中小企業の生産性向上支援に努めるとともに、人材確保の面では、新たな「育成就労制度」の施行を視野に入れて、実効性のある制度に移行できるように検討を進めていくなど、関係機関等と連携しながら、生産性向上、人材確保、価格転嫁などの支援に取り組んでまいります。

今年、経営の面で、中小・小規模事業者の本格的な景気回復が期待されましたが、原材料価格の高騰、構造的な人手不足や個人消費の停滞から収益確保を実感できず、更に、いわゆる2024年問題として働き方改革の残業規制への対応にも追われた年でありました。明けた令和7年は、中小・小規模事業者が生産性を向上させ収益がアップする年となることを期待するところでありました。しかしながら、現下の経営環境は、人手不足が深刻化する中で、最低賃金も引き上げられるなど人材確保のための防衛的な賃上げにも限界がありますし、こうした人件費や原材料費の高騰によるコスト増の価格への転嫁が引き続き大きな課題となつているなど、本年も引き続き厳しい経営環境が見込まれます。本会では、こうした課題を解決していく為に、県の補助事業の支援メニューはもとより、国が措置した「中小企業省力化投資補助金」の事務局として中小企業の生産性向上支援に努めるとともに、人材確保の面では、新たな「育成就労制度」の施行を視野に入れて、実効性のある制度に移行できるように検討を進めていくなど、関係機関等と連携しながら、生産性向上、人材確保、価格転嫁などの支援に取り組んでまいります。

時代の潮流読み更なる発展を

令和7年1月15日 新年賀詞交換会

令和7年の幕開けにあたり、1月15日に内陸工業団地会館大会議室で新年賀詞交換会を開催いたしました。ご来賓の皆さまをはじめ、組合加盟企業などから総勢70人ほどにご出席いただき、華やかに新年を祝う歓談の場となりました。

当組合の歳原博幸理事長は、「チャットGPT」で作成したあいさつ文を朗読。「組合としても生成AIに関する勉強会を立ち上げるなどして、組合員の皆様のお役に立てるような活動ができた」と語りました。また、トラックなど大型車

両の路上駐車については、「交通渋滞も発生している中、解決に向けて皆様のご協力を得ながら前向きに取り組んでいきたい」と述べました。ご来賓を代表して、日頃から当組合活動の事業運営に多大なご支援をいただいている厚木市の山

口貴裕市長、愛川町の小野澤豊町長をはじめ、衆議院議員の赤間二郎様、長友克洋様、県議会議員の難波達哉様からご祝辞をいただきました。そして厚木商工会議所会頭の中村幹夫様による乾杯で歓談に入りました。当組合活動の事業運営に多大なご支援をいただいている皆様と、親交を深めるひと時でした。



あいさつする歳原博幸理事長



山口貴裕厚木市長



中村幹夫厚木商工会議所会頭の乾杯



小野澤豊愛川町長



長友克洋衆議院議員



赤間二郎衆議院議員



難波達哉県議会議員



災害に備えて共同防災訓練を実施

2024年11月14日

当組合では、今年度も共同防災訓練を昨年(2023)の11月14日に実施いたしました。

この日は、午後1時10分に震度5以上の大地震が発生した想定で訓練を実施し、81社が参加しました。密閉空間を避け、団地会館駐車場に災害対策本部を設置。厚木市や愛川町の危機管理担当課との無線連絡のほか、組合で保管する防災備蓄品の確認を行い、防災用資機材としては、カセットガスボンベを使用する発電機の動作確認や、非常照明の点灯などをチェックしました。

また、団地内を8つの地域に分け、それぞれの地域で想定上の被災状況報告など実際に無線機を使用して行いました。

訓練後は会館の大会議室で「熊本地震に学ぶ」と題した講演会を開催。熊本地震で被災し、ほとんど備えの無い状態から、わずか1ヵ月で生産を再開した元ソニー熊本TEC総務部長で、現在は合同会社現場改革研究所代表の松本ひろしさんを講師に招き、災害時の体験談や定期的な防災体制見直しの重要性などを話していただきました。



①本部で情報を確認 ②防災講演の様子



事務局より

新年あけましておめでとうございます。2022年から着手した団地会館の建替えは昨年3月末に駐車場が完成し、完全に新しくなった会館で賀詞交換会を開催することができ、お忙しい中、多くの皆様にお集まりいただき懇親を深めることができました。

2025年は、様々な社会的な変化に積極的に取り組むべき年になると思います。私たち神奈川県内陸工業団地協同組合が新たな技術革新を取り入れ、地域社会と共に成長していくための大きな一歩を踏み出す年となりますように、今後とも、未来を見据えて柔軟で創造的に取組むことを意識し、より強固な連携を築き上げていきたいと思ひます。

賀詞交換会で歳原理事長からの挨拶にもありました通り、生成AIやIoTなどの急速な進展に対応するため、事務局としても団地内のDX推進を積極的に図っていきたく所存です。事務局一同、組合員の皆様とともに、未来の挑戦に立ち向かい、進化を遂げる一年にしていきたいと思いますので、御理解と御協力をお願いします。